

注意欠陥／多動性障害

(1) 注意欠陥／多動性障害 (ADHD) の基礎知識

注意欠陥／多動性障害 (ADHD) とは、「おおよそ、身の回りの特定のものに意識を集中させる脳の働きである注意力に様々な問題があり、又は衝動的で落ち着きのない行動により、生活上、様々な困難に直面している状態」 (文部科学省、2013) です。

① 注意欠陥／多動性障害 (ADHD) の定義

「今後の特別支援教育の在り方について (最終報告)」 (平成 15 年 3 月) で、以下のように示されています。

「ADHD とは、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び/又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業に支障をきたすものである。また、7 歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。」 (文部科学省、2003)

② 注意欠陥／多動性障害 (ADHD) の判断基準

支援を考える上で、判断基準は ADHD の特徴かどうかの参考になりますが、ADHD の判断は、医療と連携した専門家や専門機関によって行われることが原則であり、学校で ADHD を判断することには慎重な対応が必要です。

「教育支援資料」 (文部科学省、2013) では、ADHD の状態の把握について、以下のように示されています。

②-1 不注意、衝動性及び多動性の評価

(ア) 以下の「不注意」「多動性」「衝動性」に関する設問に該当する項目が多く、少なくとも、その状態が6か月以上続いている。

○不注意

●学校での勉強で細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする。

●課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい。

●面と向かって話しかけられているのに、聞いていないように見える。

●指示に従えず、また、仕事を最後までやり遂げることができない。

●学習などの課題や活動を順序立てて行うことが難しい。

●気持ちを集中させて努力し続けなければならない課題を避ける。

- 学習などの課題や活動に必要な物をなくしてしまう。
- 気が散りやすい。
- 日々の活動で忘れっぽい。

○多動性

- 手足をそわそわ動かしたり、着席していてもじもじしたりする。
- 授業中や座っているべきときに、席を離れてしまう。
- きちんとしていなければならないときに、過度に走り回ったりよじ登ったりする。
- 遊びや余暇活動におとなしく参加することが難しい。
- じっとしていない。または何かに駆り立てられるように活動する。
- 過度にしゃべる。

○衝動性

- 質問が終わらないうちに出し抜けに答えてしまう。
- 順番を待つのが難しい。
- 他の人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする。

(イ) 「不注意」「多動性」「衝動性」のうちのいくつかが7歳以前に存在し、社会生活や学校生活を営む上で支障がある。

(ウ) 著しい不適応が学校や家庭などの複数の場面で認められる。

(エ) 知的障害（軽度を除く）、自閉症などが認められない。

②-2 医学的な評価

ADHD かどうかの判断に当たっては、必要に応じて、専門の医師又は医療機関による評価を受けることを検討すべきです。また、ADHD の原因となり得る中枢神経系の機能不全が、主治医の診断書や意見書などが記述されている場合には、特別に配慮すべきことがあるかどうか確認します。

②-3 他の障害や環境的要因が ADHD の直接的原因ではないこと

(ア) 他の障害や環境的要因が、不注意、又は衝動性・多重性の直接的原因ではないこと
子供の校内での生活における行動の記録や家庭や地域から寄せられた家庭や地域における生活についての情報、校内委員会等で収集した資料等に基づいて、他の障害や環境的要因が ADHD の直接の原因ではないことを確認します。その際、必要に応じて、対象となる子供が在籍する通常の学級における授業態度の観察や保護者との面談等を実施します。

(イ) 他の障害の診断をする場合の留意事項

「LD や高機能自閉症等が不注意、又は衝動性・多重性の直接的原因であれば、ADHD と判断することに慎重でなければならない。しかし、LD と ADHD が重複する機会が多いことや、これらの障害の近接性を考慮して、LD や高機能自閉症等の存在が推定される場合においても、ADHD の可能性を即座に否定することなく、慎重に判断する必要がある」（文部科学省、2003）。

判断の多くの項目に該当し、ADHD の可能性が高いと考えられる場合でも、不注意や多

動性、衝動性の行動特徴は、LD や自閉症などの他の障害の二次的障害の症状の一部として見られることがあります。不注意や多動性、衝動性の面に支援が必要であることは示していますが、ほかの面にも支援が必要であることも留意しておくことが大切です。